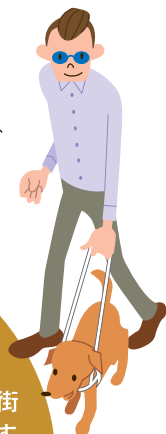


【あいこ】勝ちも負けもない同等な関係を表す言葉。「あいこ」はこの分かち合いの精神で、障がいのある人ない人にかかわらずお役に立つ情報を発信していきます。

補助犬と生活をともにする身体障がい者の自立と社会参加を促進するために制定された「身体障害者補助犬法」は、今年10月、施行より10年の節目を迎えました。この間、少しずつ社会的認知を得てきたものの、まだまだ十分には知られていないことも多く、商業施設や飲食店などで補助犬の同伴を拒否されるなどのトラブルが今でも発生しています。障がいのある人もない人もともに認め合い支え合える、誰もが暮らしやすい社会をつくるために、まずは身体障がい者の暮らしと心を支える補助犬のことを知ってください。



今だから 知って欲しい 補助犬のこと

補助犬の3つの種類

補助犬には、その役割の違いから「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」の3つの種類があります。

もうどうけん 盲導犬

目の見えない人、見えにくい人が街なかを安全に歩けるようにサポートします。障害物を避けたり、立ち止まって曲がり角を教えたりします。ハーネス(胴輪)をつけているほか、「盲導犬」と書かれた表示をつけています。犬種は、ラブラドル・レトリバーやゴールデン・レトリバーなどです。

実働頭数
1,043頭
(平成24年10月1日現在)



かいじょけん 介助犬

手や足に障がいのある人の日常生活動作をサポートします。物を拾って渡したり、指示したものを持ってきたり、着脱衣の介助などを行います。「介助犬」と書かれた表示をつけています。犬種は、ラブラドル・レトリバーやゴールデン・レトリバーなどです。

実働頭数
62頭
(平成24年10月1日現在)

ちょうどうけん 聴導犬

音が聞こえない人、聞こえにくい人に、生活の中の必要な音を知らせます。玄関のチャイム音・FAXの着信音・赤ちゃんの泣き声などを聞き分けて教えます。「聴導犬」と書かれた表示をつけています。室内での仕事が多いため、犬種はトイプードルやチワワなど、小型犬が多いです。

実働頭数
42頭
(平成24年10月1日現在)



日本で初めて国産の盲導犬が誕生したのは1957年のこと。それから55年の間に少しずつ頭数も増え、認知されるようになってきたものの、介助犬・聴導犬については、まだ10年の歴史しかありません。その歴史の差が頭数、認知の差にも関係しています。盲導犬を希望する人は潜在的に3,000~4,000人*、介助犬・聴導犬にいたっては1万人の希望者がいるともいわれられており、まだまだ補助犬の

普及が進んでいないのが現状です(潜在的希望者数については調査によって異なります)。補助犬の同伴については、「身体障害者補助犬法」で、人が立ち入ることのできるさまざまな場所で受け入れるよう義務づけられています。「犬だから」という理由で拒否するのではなく、社会の仲間として受け入れてください。

*2010年(平成22年) 社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会調べ

補助犬同伴の受け入れは法律で義務づけられています

補助犬は、きちんと訓練され管理も行われているので、社会のマナーも守れますし、清潔です。補助犬は、ユーザーの指示に従い待機することができるので、同伴の受け入れに特別な設備は必要ありません。ただし補助犬を同伴していても、補助犬ユーザーへの援助が必要な場合があります。補助犬ユーザーが困っている様子を見かけたら、まずは声をかけたり、筆談をしたりコミュニケーションをとってみてください。

●受け入れ義務のある場所

国や地方公共団体などが管理する公共施設
公共交通機関(電車、バス、タクシーなど)
不特定多数かつ多数の人が利用する民間施設(商業施設、飲食店、病院、ホテルなど)
事務所・職場(国や地方公共団体の事務所、従業員56人※以上の民間企業)
※平成25年4月1日からは従業員50人以上

●受け入れる努力をする必要がある場所

事務所・職場(従業員56人未満※の民間企業) ※平成25年4月1日からは従業員50人未満
民間住宅

盲導犬への道のり

身体障がい者のパートナーである補助犬は、どのような過程を経て「補助犬」となるのでしょうか。ここでは、盲導犬への道のりを例にご紹介いたします。

1 誕生

盲導犬の候補となる犬は、盲導犬に適した性格や適応力をもった繁殖犬から生まれます。子犬たちは、生後2ヶ月まで母犬や兄弟達と暮らし、その中で犬社会のルールを学びます。

2 パピー

子犬は生後2ヶ月で、パピーウォーカーと呼ばれる里親ボランティアの家庭に預けられます。たくさんの愛情をうけながら成長していく中で、人との信頼関係を育み、人の社会で生活するマナーを身に付けます。

子犬は散歩を通して外部の環境に少しずつ慣れていきます。他の犬や猫との出会い、人の声や電車の音などの生活音、住宅地や工業地域、車の中などさまざまな環境を経験することで、どんな状況でも落ち着いて行動できるようにしつけを受けます。

3 適正評価

1歳になると訓練施設に戻り、候補犬としての適正評価を受けます。

- ・どんな環境でも落ち着いた行動が取れるか
- ・大きな音などに過剰に反応しないか
- ・他の犬や猫、鳥などに会った時に気をとられすぎることはないか

といった性格的な部分の確認と、健康体であるかの確認を行います。

4 訓練

候補犬となった犬は、訓練士とともに約6~8ヶ月間、目の見えない人、見えにくい人が安全に歩行するために必要な訓練を行います。

まっすぐにゆっくり歩くことから、交差点や歩道の段差で止まることなどを少しずつ覚えていきます。静かな住宅地からはじめ、徐々に人通りや障害物の多い繁華な地域へ移り、公共交通機関やエスカレーターの利用など、さまざまな環境で繰り返し訓練を行います。適性評価と訓練を経て候補犬になるのは3~4割程度といわれています。

5 共同訓練

訓練を終えた犬は、いよいよ新しいパートナーと出会います。

ユーザーとなる人は、約1ヶ月に渡る共同訓練を通して、盲導犬との歩き方や飼育方法(食事・トイレ・日常の手入れ等)を学びながら、犬との信頼関係を育みます。

6 盲導犬として

共同訓練を終えると盲導犬とユーザーの新たな生活が始まります。新たな環境の中では初めて経験することも多く、戸惑うこともあります。ペットではなくパートナーとしてお互いに助け合いながら、さまざまな経験を経ることで、盲導犬とユーザーはより深い絆で結ばれていきます。

7 引退

10~12歳になると、盲導犬としての責務を終え、引退します。引退後は引退犬ボランティアの家庭でたくさんの愛情を受けながらのんびりと過ごします。

※訓練方法については、訓練施設により多少異なることはありますが、基本的な流れは大きく変わることはありません。

※聴導犬については、繁殖ではなく保健所に保護された犬の中から、聴導犬の適正のある犬を引き取って育成する場合もあります。

さまざまな人々のたくさんの愛情を受けて

補助犬は、その成長過程において、さまざまな人々の思いと大きな愛情にふれながら、人との関係を築いていきます。繁殖ボランティアの人々に見守られながら生まれ、パピーウォーカーの家庭でたくさんの愛情を受けながら成長します。パピーウォーカーは、子犬を甘やかすのではなく、きっちりとしつけを行います。犬が「ごはんを食べたい」と鳴いても、ごはんの時間になるまでは与えることはありません。そこには、「人と暮らすうえでのルールを学ぶことで、人との信頼関係を築き、ともに支え合える犬になってほしい」という思いがこめられています。

訓練施設に戻ると、訓練士との生活が始まります。訓練士は、「犬が集中して訓練に取り組めるように」「犬のモチベーションを保つためには」といったことを考えながら、試行錯誤を重ねつつ毎日訓練を行います。「訓練」という言葉の持つ厳しいイメージではなく、「犬が楽しく訓練に取り組めるように」という思いで、一頭一頭の性格にあわせて訓練を行います。

このように、多くの人の思いと愛情を受けて育てられたから

こそ、補助犬はユーザーと意思を伝え、日々の生活やさまざまな経験を通して、より深い信頼関係を築くことができるのです。

補助犬は、人と人、そしてその思いをつなぐ、共生社会に不可欠な存在なのです。



補助犬の育成を大きく支えるボランティアの力

補助犬の訓練施設では、訓練の過程や施設の運営において、さまざまなボランティアの力に大きく支えられています。繁殖犬を預かる「繁殖ボランティア」から、子犬を育てる「パピーウォーカー(里親ボランティア)」、補助犬になれなかった犬を家族の一員として迎える「キャリアチェンジ犬ボランティア」、引退した補助犬の老後をともに過ごす「引退犬ボランティア」、そして補助犬の認知度を高めるための啓発活動においても、ボランティアの力は欠かせません。その力は、犬が大好きだからこそ訓練施設で働いている職員をして、「世の中には自分よりもっと犬が好きな人がいる」と言わしめるほど。より多くの補助犬が求められる今、ボランティアの力は、補助犬に関わる全ての人の活動と心を支えています。

補助犬を通して考える障がいのこと

今はまだ、補助犬を必要としていない人も、いつかは補助犬の支えを必要とする時がくるかもしれません。あるいは家族の誰かが、補助犬を必要とすることがあるかもしれません。可能性は誰にだってあります。だからこそ、知ってほしいのです。補助犬のこと。補助犬の支えを必要とする人のこと。障がいにはどのようなものがあるか、どのようなことに困難を感じて、どのような支えを必要としているのかを。それを想像してみること、調べてみることに。それが、新たな社会への扉を開きます。

もっと知りたい!そんな方に

本記事の作成にあたり、下記の施設に取材のご協力をいただきました。

日本補助犬協会

日本補助犬協会

検索

<http://hojyoken.com/>

日本ライトハウス盲導犬訓練所

日本ライトハウス

検索

<http://www.lighthouse.or.jp/guidedog/>

厚生労働省

ほしよ犬

検索

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/syakai/hojyoken/>



障がい者との接し方 支援者との接し方

「ぶっちゃけ」トークで探る!

障がい者と支援者とのより良いコミュニケーションとは?!

今までうれしかったサポート、ちょっと困ったサポート。
「このサポートの仕方で良いのかな?」と思ったこと。
今回の「愛カフェ」では、障がい当事者や支援者など、
さまざまな立場にあるパネリストの方々に、今までのご経験を
パネルディスカッション形式でシェアしていただきます。
後半はワールド・カフェ*形式でのおしゃべりタイム。
お茶を飲みながら、面と向かってはなかなか言えない、
あんな事やこんな事を気軽にシェアして、
障がい者へのより良いサポートと
コミュニケーションに役立てませんか?



コーディネーター

梅田 純平氏(大阪ボランティア協会 ボランティアコーディネーター)

パネリスト

岩井 和彦氏(堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センター 所長)
障がいのある方とそのご家族
ビッグ・アイ サポーター(ボランティアスタッフ)

*ワールドカフェとは…リラックスした意見交換の場をつくる会話の方法です。4~5人のグループに分かれて、お茶を飲みながら参加者同士で自由に話合います。「他の人が発言している間は傾聴する」などいくつかのルールがあります。

定員 **40名**
先着順

お申し込み **必要**

参加費 **有料**
ドリンク・軽食代

締め切り **1/18**

日程 **2013年1月27日(日)**
開場 **13:30** セミナー開始 **14:00** 終了 **17:00**

会場 **ビッグ・アイ(国際障害者交流センター) 研修室**
※ 手話通訳・点字プログラム(要申込)/補助犬同伴可

定員 **40名(先着順・要申込)** 参加費 **500円(ドリンク・軽食代)**

締め切り **1月18日(金) 必着**

申込方法 下記の必要事項をご記入の上、FAXまたはEメール、ハガキ、封書にてお申込みください。
①氏名(フリガナ) ②性別 ③年齢 ④住所 ⑤所属する団体・学校名等 ⑥電話番号 ⑦FAX番号
⑧Eメールアドレス ⑨同伴者氏名(フリガナ) ⑩必要な情報サポート ⑪車の来場希望の有無

お申込み・お問合わせ ビッグ・アイ「愛カフェ」係 / 〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1
TEL 072-290-0962 FAX 072-290-0972 E-mail cafe@big-i.jp



2012~2013 EVENT CALENDAR

12 december 2012

- 01** ~12/27[木] ビッグバン
「知ろう!作ろう!楽器展」(パネル展)
[土] イベント 無料
問:ビッグバン TEL 072-294-0999
- 02** 10:00~11:30 トラベルサロン
「ANA おからだの不自由な方の相談デスク」
[日] セミナー 無料
問:トラベルサロン係 TEL 072-290-0962
- 22** 13:00~14:30(約30分) ビッグバン
「ペルトでクリスマス」
[土] イベント 無料
問:ビッグバン TEL 072-294-0999
- 24** 13:00~14:30(約30分) ビッグバン
「てづくり楽器deクリスマスコンサート」
[月・祝] イベント 無料
問:ビッグバン TEL 072-294-0999
- 24** 17:00~20:30 予定 黄昏ティーコンサート
「クリスマス スペシャル」食事(バイキング)付き
チャーリーニューシオ&オリジナルハードジャズ
オーケストラ・大橋剛バンドネオン・音登夢
[月・祝] イベント 有料 要申込 問:フロント TEL 072-290-0900

1 january 2013

- 02** ~1/3[木・祝] 13:00~14:30~ ビッグバン
「吉例!さるまわしショー」(30分間)
[水・祝] 出演:二助企画
イベント 有料
問:ビッグバン TEL 072-294-0999
- 02** ~3/17[日] ビッグバン
パネル展「防災ってなんだろう?」
[水・祝] 協力:阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
イベント 無料
問:ビッグバン TEL 072-294-0999
- 05** 17:00~18:00 黄昏ティーコンサート
「笛で巡る世界の旅」~笛の詩人 きしもとタロー~
[土] イベント 無料
他 イベント 無料
問:フロント TEL 072-290-0900
- 20** 10:30~/11:30~/13:30~/14:30~ ビッグバン
「ロープワークで「本結びミサンガ」をつくろう!」
[日] 協力:阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
イベント 無料 定 18名
問:ビッグバン TEL 072-294-0999
- 27** 14:00~17:00 愛カフェ
「障がい者との接し方・支援者との接し方」
[日] 研 セミナー 有料 定 40名 情報保障 手話通訳
問:愛カフェ係 TEL 072-290-0962
- 28** ~1/29[火] 災害支援ボランティアリーダー養成講座
[月] 研 講座 無料 要申込 定 100名 情報保障 手話通訳
問:災害ボランティア係 TEL 072-290-0962

2 february 2013

- 03** 10:00~11:30 トラベルサロン
「車いす シンガポール旅行」
[日] イベント 無料
問:トラベルサロン係 TEL 072-290-0962
- 14** ~2/15[金] 災害時視覚障がい者支援リーダー養成講座
[木] 研 講座 無料 要申込 定 100名 情報保障 手話通訳
問:災害ボランティア係 TEL 072-290-0962
- 16** 14:00~17:00 ビッグ・アイ セミナー
「フェアトレードに学ぶ商品開発、マーケティングの基礎」
[土] 研 セミナー 無料 要申込 定 70名 情報保障 手話通訳
問:セミナー係 TEL 072-290-0962
- 16** 17:00~18:00 黄昏ティーコンサート
「春を待ちわびる夕暮れのひととき」
~ヴァイオリン・チェロ・ピアノで癒しの音楽を~
アンサンブルアイビー
[土] イベント 無料
問:フロント TEL 072-290-0900
- 21** ~2/22[金] 災害支援ボランティアリーダー養成講座
[木] 研 講座 無料 要申込 定 100名 情報保障 手話通訳
問:災害ボランティア係 TEL 072-290-0962

イベント・アイコン表示について

多	… 多目的ホール	他	… その他	無料	… 参加費無料
研	… 研修室	定	… 定員数	有料	… 参加費有料
ハ	… ハリアフリープラザ	要	… 要申込	要	… 予約が必要
ビ	… ビッグバン	【別途入館料が必要】			
講	… 講演会	情	… 情報保障	手	… 手話通訳
セ	… セミナー	情	… 情報保障	手	… 点字プログラム
講	… 講座	情	… 情報保障	手	… 副音声・状況放送
イ	… イベント	情	… 情報保障	手	… その他サービス

各イベント等は開催予定です。事前にご確認ください。

いっしょに
味わう
ケアフード・レシピ

ケアフードとは、固いもの食べることがむずかしい方むけの流動食を表す造語です。



写真はイメージです。

白身魚のピカタ

材料	注:分量は、調理をする上で最低限必要な量です。
● 白身魚(タラ等)	60g
● トマト	1/2 個
● 絹さや	3 枚
● 卵	1/2 個
● 粉チーズ	小さじ 1 杯
● 小麦粉	少々
● サラダ油	大さじ 1 杯
● だし汁	1/2 カップ
● しょうゆ	小さじ 2 杯
● トロミ剤(ソフティア)	適量

- ### 作り方
1. 白身魚は洗って水気を取り、一口大の削ぎ切りにし、小麦粉をまぶしつける。
 2. 溶き卵に粉チーズを混ぜ、①を卵液につけてフライパンで焼く。
 3. フライパンから魚を取り出し、調味料(だし汁、しょうゆ)を煮立てる。
 4. 筋切りして軟らかく茹でた絹さやを食べやすい大きさに切り、③で作った調味料にトロミ剤を加え、トロミをつける。
 5. 魚を盛り付け④をかけ、食べやすい大きさに切ったトマトを添える。

チェックポイント □ トロミ剤が無ければ片栗粉等でトロミをつける。
レシピ提供: フジ産業株式会社 関西営業所 075-595-1701



私が見る韓国のバリアフリー

韓国では2007年から『障害物のない生活環境 (Barrier Free) 認証制度』を制定し、実施されていますが、今のところは大きく活性化できず寂しいです。しかし少しずつですが、進んでいる兆しもみえます。

ソウル市では光化門(クワンファムン)広場が国内最初に障害物のない生活環境公園に指定されバリアフリーの認証を取得しました。生活環境認証制度は、体の不自由な人や妊婦などが施設の利用時やアクセスに不便を感じないようにするために保健福祉家族部と国土海洋部が施行している制度で、ソウル市は社会的交通弱者の移動について便宜を図るため、安全に光化門広場にアクセスできるバリアフリー空間として造成し、1等級認証を取得しました。

最近では、韓国観光公社とSKイノベーション^{※①}は身体的・経済的困難で旅行をする機会がない家族を招待する「共にする旅行」を実施しました。行き先は韓国の南を中心に全羅南道(チョルラナムド)等の観光名所を見て回る二泊三日の旅行でした。特に観光公社のバリアフリーをコンセプトにした今回の旅行では事前調査をし、障がい者が気楽に観光できることを最大限に考えられました。観光公社では今回をきっかけに今後も障がい者が容易に旅行できる観光地及び施設を調査し、障がい者専用のパンフレットを製作することはもちろん、スマートフォンのアプリも開発して障がい者の福祉向上のために努力すると宣言しました。

2010年にはすべての生活領域で障がい者に対する差別を禁止する『障害者差別禁止法』が制定・施行されました。このように少しではありますが、韓国でも進んできました。



私たち韓国障がい者文化芸術宣教会では情報収集ができず、経済的にも厳しい障がい者に対して、このような娯楽や文化活動への参加の機会を作るように、バックアップしています。社会参加を通じて社会との交流を促進させ、障がい者の自立につなげていくように今後も社会に向け、一つでも多くの会社、組織に働きかけたいと思っています。バリアフリーとは目に見える障壁をなくすことだけでなく、人々の偏見と同じ心の壁を崩れさせることも含んでおり、私たちの心の中に存在しているかもしれない見えない障壁がなくなったその時、真のバリアフリー社会が近づくでしょう。

※① エネルギー、化学などの多くの分野を扱うSKグループの一つ。石油精製業やバッテリー事業を軸とする韓国の企業



ユン・チギョン牧師

韓国障害者文化芸術宣教会 会長
ビョンテック大学院卒業(社会福祉)/社会福祉士
2006～現在 (社)韓国障害者宣教会連合会 理事

ビッグ・アイ 探検ノート



編集後記 補助犬がハーネス(胴輪)や表示を身に付けている時はお仕事です。話しかけたり、じっと見つめたり、勝手にさわったりして、気を引かないようにしてくださいね。私も補助犬をみながらって仕事には集中します!キリッ☆

■個人情報の取り扱いについて
お預かりした読者のみなさまの個人情報につきましては、ビッグ・アイ共働機構が厳重に管理し、本紙の運営・実施の目的に利用させていただきます。目的外での利用はいたしません。また、お預かりした個人情報は、読者のみなさまの同意なしに、業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。ただし法令等により開示を求められた場合を除きます。

ビッグ・アイ
国際障害者交流センター
International Communication Center
for Persons with Disabilities

発行・編集:
国際障害者交流センター ビッグ・アイ i-co編集事務局
〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1
TEL 072-290-0962 FAX 072-290-0972
http://www.big-i.jp/
発行日: 2012年11月30日

黄昏ティーコンサート

クリスマススペシャル

ビッグ・アイより日頃の感謝をこめて、レストラン「くらん・じゅ」自慢のお料理と一流のエンターテインメントをプレゼント!忘れられない素敵な一夜をお届けします。

日時 2012年12月24日(月・祝)
17:00 ~ バイキングディナー
18:30 ~ コンサート(20:30終演予定)

会場 ビッグ・アイ (国際障害者交流センター)
多目的ホール・研修室

出演者 チャーリー・ニューシオ&オリジナルハードジャズオーケストラ
大橋剛バンドネオントリオ
音登夢 (おとむ)

チケット料金		※未就学児無料	
バイキング+コンサート	前売り	当日	
一般	2,500円	3,000円	
ビッグ・アイメンバー	2,000円	2,500円	
障がい者・65歳以上の方	2,000円	2,500円	
コンサートのみ	1,000円	1,000円	

チケット購入方法
★直接購入
ビッグ・アイのフロントにて、直接ご購入ください。(フロント受付時間10:00~18:00)
★FAXまたはEメールでの購入
詳しくは下記までお問合わせいただくか、ビッグ・アイホームページをご覧ください。
前売りチケットの販売は、12月14日(金)まで

※この事業は、ビッグ・アイ共働機構が自主事業として開催いたします。
お問い合わせ ビッグ・アイ「黄昏ティーコンサート」係(受付時間10:00~18:00)
TEL 072-290-0900 FAX 072-290-0920 E-mail tasogare@big-i.jp



クイズでプレゼント!!



ビッグ・アイ 無料宿泊券
2組4名様にプレゼント!!

クイズ 障がい者の暮らしをサポートする「補助犬」「盲導犬」と「聴導犬」とあと1つは? 「○○犬」

応募方法 郵便はがき、ファックス、電子メールのいずれかに、お名前(ふりがな)、ご住所(郵便番号をお忘れなく)、お電話番号、本紙へのご感想やご希望、ご質問などを記入いただき、ご応募ください。正解者の中から抽選で2組に景品を発送させていただきます。※読者のみなさまからいただいたご意見を「i-co」紙面でご紹介する場合があります。予めご了承ください。

応募期間 2012年12月31日(月)消印有効
※ファックス、電子メールは12月31日午後11時59分送信分まで有効。
お申込先 〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1
ビッグ・アイ「i-coプレゼント」係
TEL 072-290-0962 FAX 072-290-0972 Eメール i-co@big-i.jp

